

早稲田大学グローバルCOEプログラム
アジア地域統合研究試論 金曜セミナー
2008年2月15日

グローバル化と経済開発:
リサーチアジェンダ

トラン・ヴァン・トウ

報告の構成

- グローバル化と途上国の経済開発:
課題は何か
- ベトナムの経験: グローバル化とドイモイ
- アジア地域統合との接点

グローバル化と途上国の経済開発 (1)

(1) 経済グローバル化とは何か

経済活動の自由化、ITの普及により、財・サービス・資本・労働の国際的移動が活発化。途上国の開発にとって重要なのは:

- 貿易自由化・市場開放
- 直接投資・間接投資導入の自由化
- 対外的労働移動
- 各種知識の流入の活発化

グローバル化と途上国の経済開発 (2)

(2) グローバル化と経済開発への効果

(a) 成長促進・発展の効率化

市場拡大、技術・経営ノウハウ導入、
競争促進、資源配分の効率化

しかし、2つの問題がある。

グローバル化と途上国の経済開発 (3)

グローバル化と経済開発への効果(続)

2つの問題は何か

(i) 不安定要因

高度な専門知識が要求される資本市場の管理。Foot-loose 資本への依存が高まる。
市場開放の漸進主義が必要。

(ii) 自由貿易の罨

静態的比較優位構造の固定化
動態的比較優位の構築戦略が急務

グローバル化と途上国の経済開発 (4)

(2) グローバル化と経済開発への効果

(b) 分配の問題: グローバル化が所得格差をもたらしめているか。

ヘクシャーオリーン命題の示唆:

分配への良い効果。

ITなどの技術の急速な進歩により熟練労働と非熟練労働の賃金格差拡大。

(Skill premiumの問題)

グローバル化と途上国の経済開発 (5)

(3)政策的含意

グローバル化の問題に積極的に取り組む。
市場開放の漸進主義
教育、人材養成
全体として社会能力(クズネッツ)の向上
(good governance, 企業家精神、労働
の質的向上など)

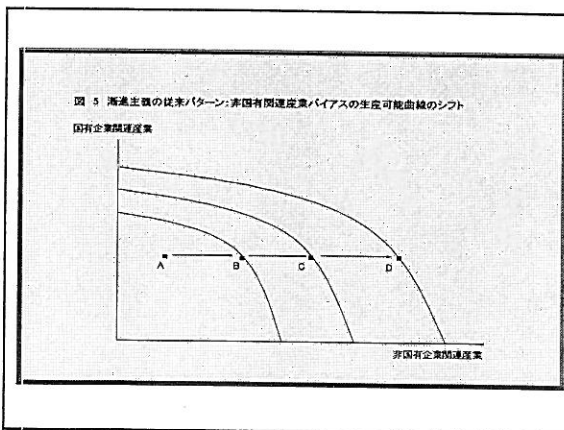
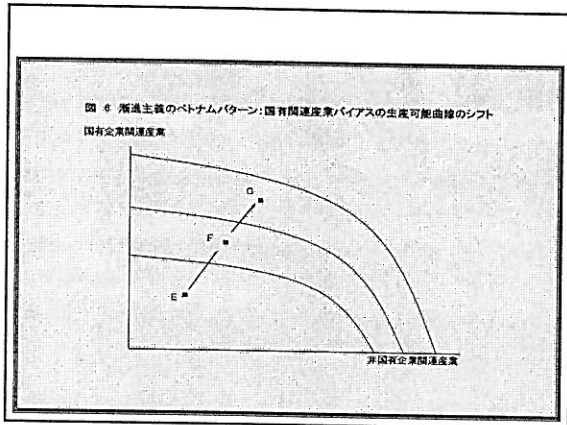
ベトナムの経験:グローバル化 とドイモイ (1)

ドイモイの時期区分

- 1986-1999: 保護貿易、国営企業重視、国家管理
 - 2000年以降: 民間企業発展促進、地域統合への参加、グローバル化潮流への組み入れ。
- AFTA:1996年加盟、2000年から関税削減の本格化
2001年: 越米通商協定
2005年: 中国-ASEANのFTA
2007年1月: WTO加盟

ベトナムの経験:グローバル化 とドイモイ (2)

- ベトナム経済とグローバル化の研究課題
 - (i) 経済発展が効率化に転じたか?
図1から図2のパターンへ?
 - (ii) グローバル化と所得分配との関係は?
最近、貧富格差の拡大が指摘されているが、所得格差の拡大をもたらした要因は何か。



アジア地域統合との接点

- FTA, EPAによる地域統合が進展している。
- 後発国の課題
 - 自由貿易の罫に嵌らないために
 - 動的比較優位構造の構築
 - 先進国・先発国の協力

主な参考文献

- Sebastian Edwards (1993), Openness, Trade Liberalization, and Growth in Developing Countries, *JEL*, Vol.31, No. 3 (Sept.), pp. 1358-1393.
- Goldberg, P. K. and N. Pavcnik (2007), Distributional Effects of Globalization in Developing Countries, *JEL*, Vol. XLV, pp.39-82.
- World Bank (2002), *Globalization, Growth, and Poverty*, Oxford Univ. Press.
- Goldin, I. and K. Reinert (2007), *Globalization for Development*, World Bank.
- トラン・ヴァン・トゥ／原田泰／関志雄(2001)『最新:アジア経済と日本』日本評論者。
- トラン・ヴァン・トゥ(2007)『東アジア経済共同体と後発国』浦田・深川編著『経済共同体への展望』(東アジア共同体の構築、第2巻)岩波書店(第9章)。
- トラン・ヴァン・トゥ『ベトナム経済:グローバル化の下の改革と開発』勁草書房近刊。